



J-アラートの不具合の原因を確認

11月29日午前11時に行いました全国瞬時警報システム（通称J-アラート）の全国一斉訓練で、杉並区内の防災行政無線から音声放送が流れないトラブルがありました。原因を調査した結果、機器を繋ぐ配線の接触不良であると判明しました。その後、機器を点検し再接続を行い、システム全体が正常に動作することを確認しました。

1 事故の状況について

全国瞬時警報システム（J-アラート）は、緊急地震速報、ミサイル発射情報等といった、緊急情報を国から人工衛星を用いて送信し、防災行政無線等を自動起動することにより、緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

11月29日（火曜日）午前11時に、全国一斉の訓練が行われました。訓練当日は、国からの情報伝達を受信して、J-アラート受信機の起動を確認できましたが、区内全ての無線放送塔（126基）、防災行政無線の*戸別受信機（720台）で音声放送が流れない事態が発生しました。

訓練の実施については、広報紙等で事前に告知していたため、予定の11時以降、放送が流れないことについて、区民等からの問い合わせが区役所にありました。そうしたことから、訓練当日の正午過ぎに、戸別受信機に向け訓練放送が流れなかったことのお詫びの放送を行ったことに加え、区ホームページで同様のお知らせを掲載いたしました。

2 事故原因と改善策について

J-アラートの訓練放送が流れていないことが判明後、直ちに、状況の把握と原因究明に着手しました。その結果、今回のトラブルの原因は、機器の配線接触の不良であることが判明したため、直ちに、機器の再接続を行ったうえで、システムが正常に動作することを確認しました。

本日12月1日、区民へ今回のトラブルの原因と現在システムが正常に動作していることを、区ホームページ等でお知らせするとともに、訓練での機器の不具合によって、ご心配、ご迷惑をおかけしたことについて謝罪しました。

今後、こうした事態を二度と起こさないために、保守点検、訓練等を通じて動作確認を行い、常にシステムが良好に動作するよう万全を期してまいります。

*戸別受信機・・・防災行政無線塔で放送する内容を同時に受信する機器。
区立施設や地域の防災会などの防災拠点に区が設置。

【問い合わせ先】

危機管理対策課 03-3312-2111 内線1581